

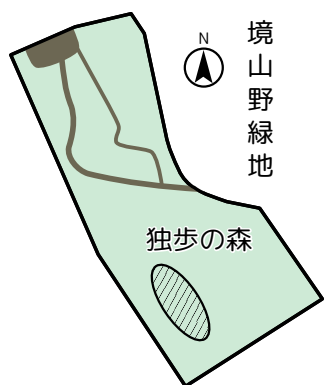


番外編「ナラ枯れの処理とその後」

はじめに 地域フォーラム「独歩の森のナラ枯れを考える」は11月23日までの全4回シリーズをとおして、境4丁目にある「独歩の森」のナラ枯れの状況を見たり、講演会で学んだり理解を深め、地域で独歩の森の未来を考えました。あれから3か月経った2月中旬ナラ枯れの剪定・伐採処理が始まりました。

■ 2月中旬 伐採

ナラ枯れ対策の伐採が始まりました。被害の程度（緑地の安全性）と雑木林の再生を考慮した伐採と剪定です。



伐採は、枯れてしまったコナラが多かった独歩の森の西側の範囲（左図斜線部）を中心として再生時に必要な日照を確保するために枯れたコナラの他イヌシデなども行いました。独歩の森の木は20mを

超す高木なので根本からバツサリというわけにはいかなそうです。

クレーンで木を吊り上げながら高所作業車に乗った作業員がチェーンソーで適当な大きさに伐っていきます。そのたびに木を降ろし、また別の方が持ち出しやすい長さに切り分けていました。



BEFORE



AFTER

独歩の森の安全性が確保され、ある程度の面積が開かれ、若いクヌギ・コナラが育つことができる明るい環境ができました。



切り株にはカシノナガキクイムシが作った坑道の痕跡をたくさん見ることができました。

この後、残っているカシノナガキクイムシが出てこないように薬品処理されます。

■ 3月初旬 どんぐり播き

クヌギ・コナラのどんぐり播きが行われました。どんぐりは独歩の森の遺伝子を残すために独歩の森で採れたどんぐりです。



どんぐりを植える場所の目印にロープを張り鋤で耕します。武蔵野に雑木林や畑を作った先人たちの開墾を再体験しているようです。準備が終わると市民の手でどんぐりを播きます。既に根が伸びていたのだから播くというよりは植えるという感じでしょうか。

作業が終わった子どもたちは、さっそく横たわった丸太で遊んでいました。



■ 3月22日 武蔵野市議会

予算特別委員会の中で市から「独歩の森は、目的は雑木林の若返り・再生なのですが、今手法を検討している中でナラ枯れが起こり大々的に伐っている。今後の進め方は地域の方達と話をしながら考えていきたい。」という旨の発言がありました。地域フォーラムの中でも地域住民が参加する協議会のようなものを作ろうという意見があり、いい協働になるかもしれません。今後が期待されます。

📄 ニュースはHPよりダウンロードできます

西部コミュニティ協議会



武蔵野市境5-6-20
seibu-c@bz04.plala.or.jp
<https://seibu-c.sakura.ne.jp/>